

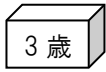
# KEYAK!

7月号

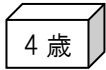
雨はとてもありがたいものですが、降り続くのはどうだろう。少なからず気分に影響を与えているのは確かですね。そんな合間を縫ってピカピカの天気にも恵まれ、年長さんのコンサートは無事に終わることができました。様々な方面からのサポートがあつての成功なのだなと実感致しました。皆様のご協力ありがとうございました。

子どもたちもそれに応えるように張り切ってくれたと思います。園での練習時に子どもたちに当日の気持ちを聞いてみました。楽しみ・わくわくの中にも、ドキドキする・緊張する、の音が一番多かったです。年長にもなると、ずいぶん先の見通しが持ててきていると同時に、園のホールで中少さんに歌を披露する以上のことがやってくる！というなんとなくの想像と「初めて経験する感」がイメージできるからこそ緊張感が持てるのです。この「イメージ」⇒「緊張」⇒「実際（当日）の体験」は子どもたちの成長・未来にとっても大きな意味を持つものと考えます。どんな小さな事柄であっても同様に、成功したこと、失敗したことを糧に、人はこの経験を繰り返しながら大きくなっていくのだと思います。「やってみたら〇〇だった！」は、結果はさまざまでしょうが、その子の経験値は確実に上げてくれるはずですよ。

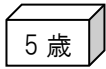
これからやってくるお泊り保育なども同様に、初めての経験の前にはいろいろなイメージや不安もあることでしょう。けれど、初めての経験の後が大切で、やってみてどうだったか、みんなと一緒にだったから、助けてあげた、助けてもらった・・・大丈夫だった、勇気をもらった、自信がついた等、いつかどこかの場面でその子の脳裏に浮かび上がってくる体験や印象として残ってほしいものです。年長のみならず、年中少それぞれの学年の営みが、運動会やこどもかいといったこれからやってくる取り組みや生活の中で紡ぎ合いながら、子どもたちの心のステップアップを図っている・・・と考えてみると、けやき幼稚園の一年ってちゃんとつながっていてすごいって思いませんか？ それに答えてくれる子どもたちがすごいのかもしれません？ ！



- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう



- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする



- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる